

# 一般質問

そこが聞きたい！

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。

これを「一般質問」といいます。

今定例会では、19人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。



## 化学物質過敏症や香害への対策を

**Q** 柔軟剤や消臭剤、洗剤などの香りで体調不良を訴える人が増えている。化学物質過敏症や香害と呼ばれる問題に対する本市の対策は。

**A** 学校の増改築工事では、化学物質の発生が少ない材料を使用しており、日常的な換気や年1回の空気環境測定を実施している。保育園や学童では、香りの発生が少ない洗剤などを使用し、換気対策も徹底している。

**Q** この問題を市民に広く知ってもらうために、公立施設や公共バスなどで啓発ポスターの掲示を。

**A** ポスター掲示などで市民への周知につなげる。

**Q** 香りを楽しむ人の自由を尊重しながらも、公共の場では、香りが苦手な人に配慮する対策を要望する。

## 公平で安全な学校開放制度を

**Q** 市内18校の小中学校を246団体が利用する学校開放制度は、団体の自主運営を尊重している。一方では、利用時間をめぐってトラブルやもめる可能性もあり、不公平な話し合いとならないための対策を伺う。

**A** 運営委員会に市職員も出席しており、団体間の公平性が保たれるように努めていく。

**Q** 真夏の熱中症対策として、柔軟なルールづくりを。

**A** ガイドラインに「午前・午後交代制」を記載し、各団体が譲り合って柔軟に使用できるよう促していく。

## 薄くなった横断歩道の塗り直しを

**Q** 信号機のない横断歩道では、白いラインは市民の命を守る重要な視覚的サインとなるが、1年近くかかるケースもあり、横断歩道の迅速な塗り直しを要望する。

**A** 蕨警察署に確認したところ、緊急性の高い箇所から、順次実施しているとのこと。



国の5省庁・県による香りへの啓発ポスター



## 道路の雑草などへの対応について

**Q** 道路沿いでは雑草や植栽が繁茂し、自転車レーンや歩道へ張り出すことで、見通しの悪化や接触事故の危険が指摘されている。市民からも交通安全面の不安が寄せられているが、現在どのように維持管理を行っているのか。また、限られた管理体制の中で交通安全を第一に考えるのであれば、植栽や植樹帯そのものを撤去する判断は検討できないか。

**A** 市内の道路では、植樹帯や舗装と歩車道境界ブロック間などで雑草の繁茂が確認されており、年2回の除草、年1回の剪定のほか、パトロールや通報に応じて随時対応している。また、近年の生育速度の高まりを受け、一部路線では除草回数を年3回に増やしている。植栽の撤去については、倒木の恐れまたは歩行者や車両の通行に著しく影響を与える場合には、撤去や縮小を実施している。



通報機能の活用を

## 市展の会期延長や巡回展示について

**Q** 市展について、会期が短く「実際に見に行きたいが行けなかった」という市民の声がある。会期延長や巡回展示の実施について見解を問う。

**A** 会期延長や巡回展示は、会場の日程確保や作品搬出入の負担など課題があり、現時点では実施が難しい。ただし、市展を多くの方に見ていただくことは、大変有意義なことであるため、実行委員会で共有し、今後の検討課題とする。また、展示作品の動画配信を積極的に行うなど周知の工夫を図ってまいりたい。

**Q** 市制施行60周年を契機に、市民が芸術文化に触れる機会を広げる取組を引き続き要望する。



## 自転車の交通反則通告制度

**Q** 新しい制度導入に向けた周知・啓発について伺う。

**A** 市内3駅にある8つの市営自転車駐車場への情報掲示を行うとともに、広報戸田市や町会・自治会回覧などによる周知、また、蕨警察との連携による交通安全運動で制度の理解を深める取り組みを行う。

**Q** 自転車運転中の「ながらスマホ」について、若い世代や高校生などに対してどのように周知啓発を進めていくのか。

**A** 成人式でのリーフレット配布や高校生への校門付近での啓発活動、さらには市内の自転車販売店などへ積極的な協力依頼など、幅広く周知啓発していく。

**Q** 制度の導入と同時に、自転車が安心・安全に車道を通行できる環境整備について伺う。

**A** 自転車交通量や事故の多い路線などを踏まえ、安心・安全に車道を通行できる環境の整備を進めている。



青切符反則金一覧(警視庁ホームページ)

## 高齢者のおしゃれ支援

**Q** 市内高齢者施設でのおしゃれや美容に関する活動の実施状況は。

**A** 多くの事業所でネイルやメイクが実施されている。

**Q** 高齢者の心身の活性化につながる活動として支援や普及促進についてどのように考えているか。

**A** 利用者からも好評を得ているので、事業者間で情報共有できるよう案内していく。

## 認知症カフェ

**Q** 個人ボランティアに対する運営費の補助はないか。

**A** 運営費の補助は行っていないが、伴走型の継続支援を行っている。